

令和6年度第2回羽島市国民健康保険運営協議会（会議要旨）

日 時	令和7年2月12日（水） 午後1時25分～午後2時50分
場 所	羽島市役所本庁舎4階 第1委員会室
出席者	<p>（委員）出席者10名 石川かおり委員、藤木美保子委員、大野仁作委員、田中吉政委員、河合悟委員、小川徹委員、加藤静恵委員、今井田朋美委員、近藤達彦委員、浅野牧美委員</p> <p>（事務局）出席者9名 松井市長、園部市民部長、河口収納課課長補佐、國井健幸福祉部子育て・健幸課健幸担当課長、佐藤保険年金課長、清水保険年金課主幹、棚橋保険年金課課長補佐、波多野保険年金課国民健康保険税係長、中野保険年金課保健事業係長</p>
内 容	<p>1 市長挨拶</p> <p>2 会議録署名委員の指名 田中委員、近藤委員</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 「羽島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（案）」について</p> <p>(2) 「令和7年度羽島市国民健康保険特別会計予算（案）」について</p> <p>(3) その他</p> <p><質疑応答等></p> <p>（委員） 羽島市の国保税の賦課方法についてどの方式（4・3・2方式）で計算されているのか。また、岐阜市、大垣市、各務原市、山県市の賦課方法は。</p> <p>（事務局） 羽島市は所得割、均等割、平等割の3方式で賦課しており、4市についても3方式である。</p> <p>（委員） 軽減判定所得について説明してほしい。</p> <p>（事務局） 低所得者に対する国保税の負担を軽減するために、世帯の総所得金額等が、計算式に当てはめた金額を下回る場合、均等割と平等割を7・5・2割軽減するものである。</p> <p>（委員） 令和11年度末基金残高2億円の根拠は。</p> <p>（事務局） 県が提示する賦課必要額と市の賦課額の差を埋めていくために、基金と繰越金が必要で、基金1：繰越金2の割合で投入するとした場合に残る見込みが2億円になるものである。</p> <p>（委員） 羽島市は県提示賦課額より少なく済んでいるが、県提示賦課額の計算方法は県を一つの単位として出しているということによ</p>

いか。また、羽島市は医療費が県の平均より安いという捉え方を
してよいか。

(事務局) 県提示賦課額とは、県が提示する羽島市としての賦課額である。
また、羽島市の医療費指数は、県内では少し高いレベルであるが、
公費を投入し、負担を抑制している。

(委員) 岐阜県国民健康保険団体連合会に支払う審査支払手数料が
5,000円増加している理由は。

(事務局) 国保税滞納により一部負担金が10割負担となっている方が、
特別療養費として保険給付費分の償還請求をするケースが増え
ている。その場合の審査支払手数料について、増加を見込んだも
のである。

(委員) レセプト点検で回収できる金額と、事業者に払う金額との差額
はどのくらいあるのか。

(事務局) 令和5年度の実績は、点検費用が180万円で、回収できた金額
が315万円ぐらいとなっている。

(委員) 特定健診の未受診者対策として、文書や電話等により受診勧奨
を実施したということだが、未受診者の反応は。

(事務局) これから受診しますとか病院に通っているから行く必要はな
い、何かあったら病院に行けばいい、という方がみえる。

(委員) 特定健診の受診率が低いので、羽島市の広報紙に特定健診を受
けることによってこういう病気が防げたとか、事例を載せたらど
うか。

(事務局) 今年度の受診勧奨の中で、メタボに起因する病気をイラストで
示している。今後については、自分事として捉えられるようなイラ
ストやメッセージを強調して発信していく。

(委員) 保険者努力支援制度で後発医薬品の使用促進に関する取り組み
が低い要因は。

(事務局) 羽島市がなぜ低いかというところは分からない。厚労省はホー
ムページにおいて、ジェネリック医薬品の供給不足や供給状況の
報告等行っているようであるが、現実的には機能していないので
はないかと思われる。

(委員) 保険の切り替え後、どの程度でマイナンバーカードに反映され
るのか。また、電子証明書が切れる前に通知が来るはずだが、来
ていない患者さんが多い。

(事務局) 5日ぐらいはかかる。